

施策評価シート

対象事業年度 平成 30 年度

施策4

政策	II 夢のふくらむ港・環境にやさしい港	施策推進 責任者	港営部長・企画調整室長
施策	4 良好な港湾環境の形成		

1. PLAN(目的・展開内容)

目的	サービスの対象者(誰のために)	地域住民、来訪者、就業者、船会社、港湾運送事業者、荷主など	意図(どういった状態にしたいのか)	水域の適正な管理が行われ、港湾における環境負荷が低減するなど、自然環境、生活環境、地球環境などさまざまな面で環境を守り環境にやさしい港
	サービスの対象物(何を)	港湾のあらゆる機能への環境配慮や自然環境保全の取組		
展開①	水域の適正な管理	港湾における環境負荷の低減及び自然環境保全	展開②	名古屋港管理組合業務や港湾物流における温室効果ガス排出量を削減するため、環境負荷の低減や自然環境保全に取り組むとともに、PR活動を実施します。
	放置艇による問題を解決するため、関係機関や利用者との調整、係留保管場所の確保及び地域の実情に照らした規制によって、名古屋港の水域の適正な管理に取り組めます。		展開③	長期的・安定的なしゅんせつ土砂処分場の確保 港内で発生するしゅんせつ土砂の処分場の確保を進めるとともに、廃棄物処理に関わる埋立地の整備を引き続き進めます。

2. Do(施策を構成する各事務事業の取組内容・5年間の状況・令和元年度以降の取組)

コード	事務事業名 (担当課名)	指標名 【指標型】	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	5年間の状況	令和元年度以降の取組
			1段目:指標 目標値	2段目:指標 実績値	3段目:事業費(単年度・人件費込・国費除く)	4段目:各年度の状況			

【展開①】水域の適正な管理

施04 事101	放置艇対策の推進 (プレジャーボート対策担当)	巡視及び行政指導を 行った回数 【単年度管理型】	24回	24回	36回	36回	36回	目標値を上回る	継続
			30回	54回	67回	49回	47回		
			41,835千円	76,813千円	22,306千円	68,468千円	23,266千円		
			目標値を上回る	目標値を上回る	目標値を上回る	目標値を上回る	目標値を上回る		

【展開②】港湾における環境負荷の低減及び自然環境保全

施04 事201	第3次名古屋港管理組合 地球温暖化対策実行計画の推進 (環境担当)	環境に配慮した取組の 達成状況 【進管理型】	13項目	15項目	18項目			完了	
			11項目	12項目	11項目				
			3,524千円	4,460千円	4,480千円				
			順調	遅れ	遅れ				
施04 事202	港湾環境啓発活動の推進 (環境担当)	パンフレット等の受取人数 【単年度管理型】	1,100人	1,100人	1,100人	1,100人	1,100人	目標値をやや下回る	継続
			1,004人	645人	1,056人	1,240人	1,327人		
			3,032千円	2,862千円	3,120千円	2,860千円	1,844千円		
			目標値をやや下回る	目標値を下回る	目標値をやや下回る	目標値を上回る	目標値を上回る		
施04 事203	第4次名古屋港管理組合 地球温暖化対策実行計画の推進 (環境担当)	当該年度の削減目標を達成した取組 項目数 【単年度管理型】	-	-	-	7項目	7項目	目標値をやや下回る	継続
			-	-	-	6項目	6項目		
			-	-	-	6,433千円	4,610千円		
			-	-	-	目標値をやや下回る	目標値をやや下回る		

【展開③】長期的・安定的なしゅんせつ土砂処分場の確保

施04 事301	稲永ふ頭廃棄物埋立護岸整備事業 (事業推進課)	事業進捗率(整備費換算) 【進管理型】	100.0%					完了	
			100.0%						
			1,923,491千円						
			順調						
施04 事302	しゅんせつ土砂処分場の確保 (海域企画担当)	しゅんせつ土砂処分場計画 の策定までの状況 (全4工程) 【進管理型】	2工程	2工程	2工程	3工程	4工程	やや遅れ	重点施策として位置付け継続
			1工程	1工程	1工程	2工程	3工程		
			3,083千円	3,122千円	3,136千円	3,217千円	3,227千円		
			やや遅れ	やや遅れ	やや遅れ	やや遅れ	やや遅れ		
		施策コスト(合計)	1,974,965千円	87,257千円	33,042千円	74,545千円	28,337千円		

3. CHECK(成果目標の状況・5年間の成果目標の総括)

施策 成果目標	実績等	年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	5年間の成果目標の総括
			目標値※1	実績	目標値	実績	目標値	
放置艇の隻数	目標値※1	隻	1,016	982	948	914	880	・係留保管場所(新舞子ポートパーク5、6号棧橋)の確保や禁止行為等の規制措置など放置艇対策を進めた結果、平成26年度に930隻あった放置艇が平成30年度末に629隻となった。
	実績	隻	930	800	720	670	629	
名古屋港管理組合 温室効果ガス総排出量の削減率※2	目標値	%	3.0	4.0	5.0	9.2	10.4	・温室効果ガス総排出量の削減率については、施設の統廃合や業務移管、道路照明や設備機器の更新等により、毎年度、目標値を達成することができました。
	実績	%	7.5	16.4	19.5	12.7	14.2	

※1 26年度から29年度は仮目標値としています。

※2 26年度から28年度は、第3次名古屋港管理組合地球温暖化対策実行計画に基づき、平成23年度を基準年度とした削減率を記載しています。  
29年度から30年度は、第4次名古屋港管理組合地球温暖化対策実行計画に基づき、平成25年度を基準年度とした削減率を記載しています。

$$\text{仮目標値} = \text{初期値(25年度)} + \frac{\text{目標値(30年度)} - \text{初期値(25年度)}}{5\text{年間(政策体系期間)}} \times 25\text{年度からの経過年数}$$

4. ACTION(課題・令和元年度以降の取組)

5年間の達成状況		課題	令和元年度以降の取組
展開①	【事101】平成29年4月に放置等禁止区域を拡大指定した美濃川地区を始め、放置等禁止区域の定期的な巡視及び行政指導を行った回数は目標値を上回りました。	【事101】放置艇対策を推進するためには、放置等禁止区域の拡大を検討する必要があります。また、弥富ポートパークの整備を推進するため、平成29年度に実施した事業化検証調査で明らかになった駐車場確保等の課題について、引き続き、関係者と調整する必要があります。	【事101】放置艇の移転、収容のための受け皿となる新舞子ポートパークの空き状況を注視しながら、放置等禁止区域の拡大を検討していきます。また、事業化検証調査の結果を踏まえ、弥富ポートパークの具体的な整備時期、規模等について調整を進めていきます。
展開②	【事201】第3次名古屋港管理組合地球温暖化対策実行計画については、計画期間が終了しました。【平成28年度完了】 【事202】環境デーなごやなどのイベントやみなと体験ツアーにおいて、積極的に啓発用パンフレットを配布するとともに、小中学校への出前授業や生涯学習センターの講座などの環境学習に協力しました。 【事203】第4次名古屋港管理組合地球温暖化対策実行計画については、令和3年度を目標年度とし、引き続き、事務・事業活動から排出される温室効果ガス総排出量の削減を目指すこととしました。	【事202】名古屋港の環境の取組について、更に多くの県民・市民に関心を持って頂くように広報に努め、環境イベントなどの集客方法を工夫していく必要があります。 【事203】第4次名古屋港管理組合地球温暖化対策実行計画の目標達成に向け、引き続き、温室効果ガス総排出量の削減に取り組む必要があります。	【事202】港湾環境啓発活動の推進事業は、引き続き、環境イベントや出前講座等を通じ、より多くの方々に名古屋港の環境への取組を知っていただくよう努めていきます。 【事203】名古屋港管理組合と指定管理者等が協力して、第4次名古屋港管理組合地球温暖化対策実行計画の目標達成に向けて取り組んでいきます。
展開③	【事301】稲永ふ頭廃棄物埋立護岸整備の進捗を回り、平成26年度に完了しました。【平成26年度完了】 【事302】しゅんせつ土砂の処分場確保については、国を始めとする関係機関と協力して調整を行い、平成31年3月からは国により環境影響評価法に基づく環境影響評価準備書の手続きが開始されました。	【事302】しゅんせつ土砂の処分場確保の確保については、関係者とのさまざまな調整が必要です。	【事302】国等の関係機関と連携し関係者の理解を得ながら、しゅんせつ土砂処分場の確保に向け重点的に取り組んでいきます。

今後の新たな取組方針

- ・環境負荷の軽減を図る国の政策を踏まえ、照明設備のLED化などの省エネルギーの推進、太陽光等の再生可能エネルギーなど、低炭素化に向けた取組をすすめます。
- ・船舶の排出ガス規制が強化されることに伴い、インセンティブの活用によりLNG燃料船の入港を促進するなど、LNGバンカリング拠点形成の支援に取り組めます。